

移動タンク貯蔵所等による軽油の給油・注油等

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書【例 3】

届出者 住所 岡崎市〇〇町〇〇番地〇

(株)〇〇〇〇

氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印

1 目的

震災等により被災地において災害復興のための重機への燃料補給及びドラム缶への注油を行うために必要な事項をあらかじめ計画します。

2 仮貯蔵・仮取扱いをする場所

岡崎市〇〇町〇〇番地(〇〇工場西側空地)

3 仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

約 2,000 平方メートル

4 詳細レイアウト

別紙のとおり

5 仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

第 4 類第 2 石油類(軽油) 1 日最大 20,000 リットル

6 指定数量の倍数

20 倍

7 貯蔵及び取扱いの方法

(1) 移動タンク貯蔵所から直接重機への給油及びドラム缶への詰替えを行う。

(詰め替えたドラム缶は別途確保する貯蔵場所へ速やかに移動させる)

(2) 保有空地を 6 メートル確保する。

(3) 高温になることを避けるため、必要に応じて通気性を確保した日除けを貯蔵所に設ける。

(4) 第 5 種消火設備 10 型 ABC 粉末消火器 3 本を設置する。

(5) 標識、掲示板を設置し関係者に次の事項について注意喚起を行う。

「危険物仮貯蔵・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量(倍数)」、「火気厳禁」

8 安全対策

(1) ドラム缶本体のアースを確保する。

(2) 吸着マット等危険物の流出等の応急資機材を準備する。

(3) 危険物の取扱いは原則として危険物取扱者免状保有者が行う。

9 管理状況

(1) 保有空地の周囲にバリケード等を設け、空地を確保する。

(2) 敷地の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。

(3) 作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。

10 その他必要な事項

移動タンク貯蔵所への注油は別の場所で行う。

緊急連絡先：0564-〇〇-〇〇〇〇

防油堤を設け、漏えい防止シートで覆い流出防止措置を講ずる。

ドラム缶本体だけでなく、給油に使用するドラムポンプ等からもアースを確保する。

詰め替え後ドラム缶は順次運び出し、この場所で保管しない。

高温になることを避けるため、通気性を確保した日除けを設置する。

保有空地の周囲にバリケード(ロープを張り)空地を確保する。

保有空地 6 m確保
する。

吸着マット 第5種消火設備

過剰注油防止に細心の注意を払う。

過剰注油防止に細心の注意を払う。

火氣嚴禁

第2石油類 軽油 20,000 リットル(20 倍)

- ・大きさ、縦 30 c m 以上、幅 60 c m 以上（縦書きでも可）
- ・「火気厳禁」は、地は赤色、文字は白色
- ・「危険物仮貯蔵・仮取扱所」は、地は白色、文字は黒色